

2021年度 環境経営レポート



活動期間 2021年4月～2022年3月

発行日 2022年 8月5日



DAISHIN-KIKO

株式会社 **ダイシン機工**

目次	2
環境経営方針	3
事業内容・概要 E A21推進組織図	4
環境経営目標及びその実績	5
環境経営活動の取組結果と評価及び次年度への取組み	6・7
環境関連法規制等の遵守評価	8
社内の取り組み・代表者による全体の評価と見直し	8
ダイシン機工第2章へ	9

環境経営方針

【基本理念】

人・技術・創造で 向上企業を目指します。
『急がず、焦らず、着実に前進』

【基本方針】

株式会社ダイシン機工は、企業活動の主体である金属部品の機械加工を通じて多様化する環境課題への対処を経営上重要な戦略とし、地球環境に適合した商品及びサービスの提供を通じて、長期的な環境保護活動に貢献致します。

【活動方針】

環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

二酸化炭素排出量（電気、ガソリン、軽油、灯油）の削減に取り組めます。

5S活動を通じて廃棄物の削減、リサイクルの促進に取り組めます。

水資源の有効活用のため 節水に取り組めます。

環境に配慮した製品の製造及び販売に取り組めます。

この環境経営方針は全従業員に周知する。

リサイクル可能な部品を取り入れ新規商品開発に取り組めます。

株式会社 **ダイシン機工**

代表取締役 岡田 輝夫

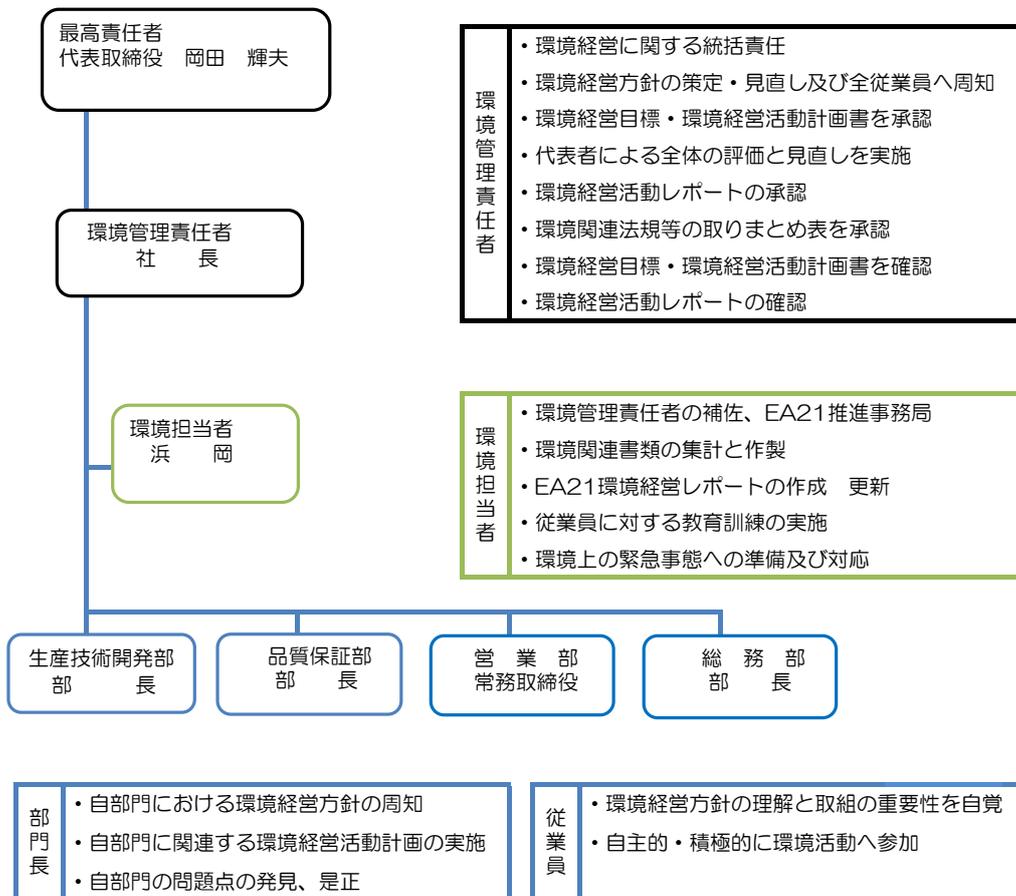
更新日 : 2020年9月2日

事業内容・概要							
代表者名	代表取締役 岡田 輝夫						
所在地	本社 〒710-0024 岡山県倉敷市亀山726-5						
環境管理責任者	代表取締役 岡田 輝夫						
担当者の氏名	総務部 濱岡麻里香						
連絡先	TEL：086-428-8008 FAX：086-428-8011 E-Mail：hamaoka.m@daishinkiko.co.jp						
事業内容	金属加工製品の設計・開発及び製造 産業機械部品の製造 産業機械（治工具類）の輸入販売 医療機器の設計・開発及び製造						
事業の規模	製品出荷額 2億765万円（2021年度実績） 主要製品 メカニカルシール等 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2">本社・工場</td> </tr> <tr> <td>従業員</td> <td>21名（内パート4名）</td> </tr> <tr> <td>延べ床面積</td> <td>874.92㎡</td> </tr> </table>	本社・工場		従業員	21名（内パート4名）	延べ床面積	874.92㎡
本社・工場							
従業員	21名（内パート4名）						
延べ床面積	874.92㎡						
事業年度	4月～翌年3月						

認証・登録の対象範囲	
対象事務所	本社・工場
活動	金属加工製品の設計・開発及び製造 産業機械部品の製造 産業機械（治工具類）の輸入販売 医療機器の設計・開発及び製造



EA21 推進組織図



環境経営目標及びその実績

(1) 目標

年 度	項 目	2018年度 基準年度	2021年 目 標	2022年 目 標	2023年 目 標
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂	104,662	100,476	99,429	98,382
	対基準		△4%	△5%	△6%
1) 電気 使用量の節減	kWh	144,905	139,109	137,660	136,211
	kg-CO ₂	100,564	96,542	95,536	94,530
	対基準		△4%	△5%	△6%
2) ガソリン 使用量の節減	L	2,916	2,799	2,770	2,741
	kg-CO ₂	1,846	1,772	1,754	1,736
	対基準		△4%	△5%	△6%
3) 軽油 使用量の節減	L	1,285	1,234	1,221	1,208
	kg-CO ₂	906	870	861	852
	対基準		△4%	△5%	△6%
4) 灯油 使用量の節減	L	1,341	1,287	1,274	1,261
	kg-CO ₂	910	874	865	856
	対基準		△4%	△5%	△6%
II. 廃棄物排出量					
1) 一般廃棄物 の削減	kg	985	981	980	979
	対基準		△4Kg	△5Kg	△6Kg
2) 金属材料ロス の削減	kg	10,511	10,091	9,985	9,880
	対基準		△4%	△5%	△6%
III. 水道水使用量 削減	ml	184	177	175	173
	対基準		△4%	△5%	△6%
IV. 環境への配慮					
1) 地域清掃(川掃除)	対基準	実績なし	年間2回	年間2回	年間2回
2) リサイクル可能な 部品を取り入れ 新規商品開発	対基準	実績なし	継続的な改 良・製造	継続的な改 良・製造	継続的な改 良・製造

注1) 都市ガスは、使用量が微量のため二酸化炭素排出量に含めない。

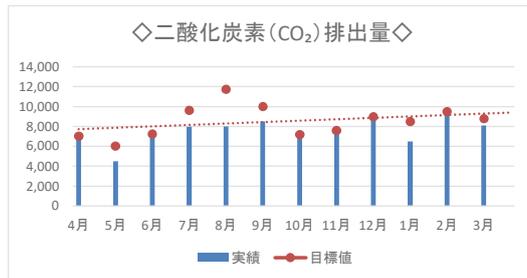
注2) 電力の二酸化炭素排出係数は、中国電力公表の2017年の0.694kg-CO₂/kWhを使用



環境経営活動の取組結果と評価及び次年度への取組み

◇二酸化炭素(CO₂)排出量◇ 購入電力(中国電力2017年)二酸化炭素排出係数 0.694kg-CO₂/kWh

年目標値	102,142												目標	8,512											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	通年												
実績	6,871	4,498	6,899	7,979	7,986	8,519	7,112	7,415	8,965	6,485	9,433	8,097													
目標値	7,034	6,019	7,241	9,618	11,723	10,003	7,186	7,587	8,966	8,485	9,495	8,786	102,142												
総排出量	6,871	11,364	18,263	26,242	34,228	42,747	49,859	57,274	66,239	72,724	82,157	90,255	90,255												
評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○												



◇二酸化炭素の排出項目の内訳◇

購入電力(中国電力2017年)二酸化炭素排出係数 0.694kg-CO₂/kWh

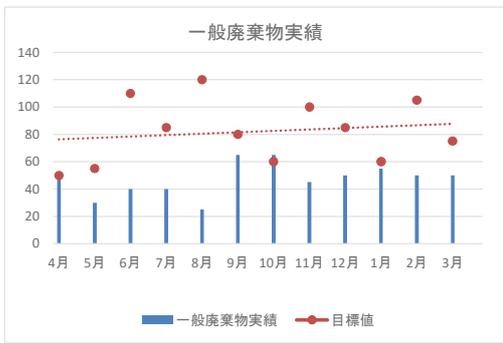
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	通年
電力使用量実績	9,684	6,247	9,624	11,071	11,309	12,074	9,504	10,464	12,163	8,986	12,898	11,218	
目標値	9,621	8,262	9,894	13,365	16,158	13,863	9,741	10,398	11,790	10,937	13,165	11,923	139,109
総排出量	9,684	15,931	25,555	36,626	47,935	60,009	69,513	79,977	92,140	101,126	114,024	125,242	125,242
評価	×	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○
ガソリン使用量実績	160	116	224	268	218	122	237	160	251	223	164	221	
目標値	176	147	246	151	169	232	349	238	339	326	156	271	2,799
総排出量	160	266	490	758	976	1,088	1,335	1,495	1,746	1,969	2,133	2,354	2,354
評価	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	△	○	○
軽油使用量実績	78	120	111	178	0	89	100	73	92	152	109	71	
目標値	145	99	102	81	231	43	82	92	94	129	93	43	1,234
総排出量	78	198	309	487	487	576	676	749	841	993	1,102	1,173	1,173
評価	○	△	△	×	○	△	△	○	○	△	△	△	○
灯油使用量実績	0	0	0	0	0	0	435	0	442		444	180	
目標値	109	109	109	109	109	109	109	109	109	109	109	109	1,314
総排出量	0	0	0	0	0	0	435	435	877	877	1,321	1,501	1,501
評価	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	△	○	△

取組み計画	達成状況	評価結果と次年度の取組内容
電力使用量の削減 ・不要照明の消灯 ・省電電気のLED化 ・エアコンフィルター定期清掃 ・稼働率アップと加工不良の撲滅	達成 ○	【評価と結果】 就業時間の短縮により、基準年より16%削減となりました 【次年度の取組み】 就業時間の短縮をおこなったまま生産力を回復させていきたいです LEDの導入計画の推進
ガソリン使用量の節減 軽油使用量の節減 ・急加速・急停車の防止 ・カーエアコンの適切な使用 ・タイヤの空気圧定期点検 ・配送ルートの効率化 ・営業活動と納品日の集約	達成 ○	【評価と結果】 営業車でのエコドライブを徹底しつつ 納品・配送など連携して取組みができました 【次年度の取組み】 新規事業の開拓や、顧客への新規導入した機械の営業活動の推進 更なる効率を考え取組みを継続します
灯油使用量の節減 ・暖房時解放禁止禁止の徹底 ・適正温度の設定 ・ウォームビスの継続	やや達成 △	【評価と結果】 ウォームビス対策でアウターを支給し、体温管理をして暖房費の削減を行いました 【次年度の取組み】 次年度も継続して取組みをしていきます

環境経営活動の取組結果と評価及び次年度への取組み

◇廃棄物の削減◇

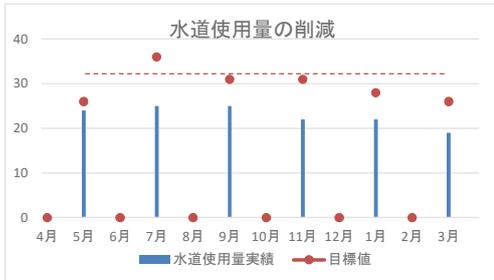
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	通年
一般廃棄物実績	50	30	40	40	25	65	65	45	50	55	50	60	
目標値	50	55	110	85	120	80	60	100	85	60	105	75	981
総排出量	50	80	120	160	185	250	315	360	410	465	515	565	666
評価	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
金属材料ロス実績	852	326	636	905	390	1,057	960	852	404	700	474	1,114	
目標値	480	1,162	853	811	674	1,185	600	1,507	762	767	987	302	10,091
総排出量	852	1,178	1,814	2,719	3,109	4,166	5,126	5,978	6,382	7,082	7,556	8,670	8,670
評価	x	○	○	△	○	○	△	○	○	○	○	△	○



取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の取組内容
一般廃棄物の削減 ・ペーパーレスの推進 ・文書のデータ化促進 ・分別リサイクルの推進 ・プラスチック製品の削減 ・シュレッター屑の再利用	達成 ○	【評価と結果】 文書のデータ化の推進により、社内ネットワークを使用にてペーパーレスでの情報交換が可能となりました 【次年度の取り組み】 文書のデータ化をよりすすめ社内ネットワークを使用して 納期管理、在庫管理等ロス、ムダの撲滅に繋げるシステムの構築
金属材料ロスの削減 ・分別によるリサイクルの推進 ・ボカミス削減 ・材料ロスの削減	達成 ○	【評価と結果】 生産量の回復に伴い 切削屑の増加となるが、NGによる再製作の削減に取組みました 【次年度の取り組み】 継続してボカミスの削減、管理をしていきます

◇水道使用量の削減◇

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	通年
水道使用量実績	0	24	0	25	0	25	0	22	0	22	0	19	
目標値	0	26	0	36	0	31	0	31	0	28	0	26	177
総排出量	0	24	0	49	0	74	0	96	0	118	0	137	137
評価	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	○



【 評価と結果 】
 老朽化に伴い、蛇口からの水漏れが発生した為、交換を行いました。その他の、蛇口の緊急点検を行いました。

【 次年度への取り組み 】

- ・継続して無駄の削減 節水を心がけます
- ・定期的な水漏れ調査の実施

環境関連法規等の遵守評価

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
浄化槽法	浄化槽の保守点検、清掃、水質定期検査の実施	遵守
家電リサイクル法	特定家電4品目の適正な事業者（家電販売店）への引き渡し	遵守
自動車リサイクル法	使用済自動車の適正な事業者（引取登録事業者）への引き渡し	遵守
フロン排出抑制法	フロン使用機器の適正な管理と定期点検記録	遵守
消防法	消防計画の作成、避難訓練の実施・消火設備の定期的な点検	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

社内取組の紹介

新規導入 工事もエコ精神で



＜精密加工の要 温度管理
微細加工の精度アップ！＞

レーザールームの増設にともない
防音効果、省エネ効果の高い
断熱材を採用し工事を行いました。

代表者による全体の評価と見直し

項目	変更の必要性	指示事項及びコメント
環境経営方針	あり	2022年4月より代表取締役が交代となり環境経営方針・環境経営目標を見なおし組織編成を再構築する
環境経営活動計画達成状況	なし	後半に仕事が集中し、生産量が回復してきている。社内コミュニケーションを十分にとり、作業の無駄、加工不良の削減に努める
環境関連法の見なおし・遵守状況	なし	今度も最新の環境関連法規制の確認に努める
外部からの環境に関する苦情や要望	なし	外部からの問い合わせがあった場合には迅速に対応する

代表取締役の変更に伴い、実施体制において、環境管理責任者を筆頭とし、各自の役割、責任及び権限を全従業員に再度周知徹底するよう指示をしました。エコアクション21の取り組みと合わせて、SDGsの宣言書を作成し、企業経営のみならず、個々の従業員にとっても不可欠な有意義なものとなるよう進めていき、この取組を社内・社外へ発信していきます

技術力で今ある商品・サービスに
プラス α の価値を創造する

創造業カンパニーを目指します！

(株)ダイシン機工は、第2章へ



小さなことから コツコツと

